



自動ライン選択

この章では、Cisco Unified Communications Manager Express (Cisco Unified CME) の自動回線選択機能について説明します。



(注) この機能は SCCP 電話機にのみ適用されます。新しいユーザ インターフェイスを備えた新しい SIP 電話機 (Cisco Unified IP Phone 7800、8800 シリーズ) には、この機能は適用されません。ユーザが行を選択すると、フォーカスはその選択された行に移動します。着信と発信の両方の通話では、選択された回線または応答された回線に基づいてフォーカスが変更されます。

- [自動ライン選択に関する情報 \(1 ページ\)](#)
- [自動ライン選択を設定する \(2 ページ\)](#)
- [自動回線選択の設定例 \(5 ページ\)](#)
- [自動ライン選択の機能情報 \(5 ページ\)](#)

自動ライン選択に関する情報

着信および発信通話の自動回線選択

複数回線の IP 電話の場合、受話器をあげると、電話機で最初に鳴っている回線が自動的に選択されます。また、回線が鳴っていない場合は、発信コールに使用可能な最初のアイドル回線が選択されます。これは、すべての多回線 IP 電話のデフォルトの動作です。

ただし、状況によっては、発信回線を選択したり着信コールに応答したりするために、回線ボタンを明示的に押すことを要求する場合があります。Cisco CME 3.0 以降では、各 IP 電話が使用する回線選択のタイプを柔軟に割り当てることができます。

自動回線選択機能を使用すると、電話機を受話器を取ったときに選択される回線を電話機ごとに指定できます。

次のいずれかの動作を電話機ごとに割り当てることができます。

- 自動回線選択 - 受話器をあげると、最初に呼び出し音が鳴っている回線に応答します。回線が鳴っていない場合は、最初にアイドル状態の回線が選択されます。キーワードや引数なしで **auto-line** コマンドを使用します。これはデフォルトです。
- 手動回線選択（自動回線選択なし）：[応答] ソフトキーを押すと、最初に鳴っている回線に応答し、回線ボタンを押すと発信コールの回線が選択されます。受話器を上げても、電話に出たりダイヤルトーンが鳴ったりしません。 **no auto-line** コマンドを使用します。
- 着信のみの自動回線選択：受話器をあげると最初に鳴っている回線に応答しますが、回線が鳴っていない場合は発信に待機中の回線は選択されません。回線ボタンを押すと発信する回線が選択されます。 **auto-line incoming** コマンドを使用します。
- 発信コールのみの自動回線選択 - 発信コールのために受話器を取り上げると、ボタン番号に関連付けられた回線が選択されます。ボタン番号が指定されていて、そのボタンに関連付けられた回線が利用できない場合（別の電話機で使用されている共有回線であるため）、受話器を上げてもダイヤルトーンは聞こえません。発信するには、利用可能な回線ボタンを押す必要があります。着信コールに応答するには、[応答] ソフトキーを押すか、呼び出し回線ボタンを押してください。 **auto-line** コマンドを **button-number** 引数とともに使用します。
- 着信および発信の自動回線選択：[応答] ソフトキーを押すか、受話器を持ち上げると、指定されたボタンに関連付けられた回線に応答します。発信時に受話器を取り上げると、指定されたボタンに関連付けられた回線が選択されます。 **auto-line** コマンドを **button-number** 引数と **answer-incoming** キーワードとともに使用します。

自動ライン選択を設定する

自動行選択を有効にする

着信に応答したり発信したりするために自動回線選択を有効にするには、次の手順を実行します。



制約事項

自動回線選択は、トランクディレクトリ番号用に設定され、[パーク] または [Callfwd] ソフトキーを押して回線が使用された場合はバイパスされます。最初に利用可能なディレクトリ番号が使用されます。

手順の概要

1. 有効化
2. **configure terminal**
3. **ephone phone-tag**
4. **auto-line** [**button-number** [**answer-incoming**] | **incoming**]
5. 終わり

手順の詳細

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	有効化 例 : <pre>Router> enable</pre>	特権 EXEC モードを有効にします。 • プロンプトが表示されたらパスワードを入力してください。
ステップ 2	configure terminal 例 : <pre>Router# configure terminal</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードに入ります。
ステップ 3	ephone phone-tag 例 : <pre>Router(config)# ephone 24</pre>	ephone 設定モードに移行します。 • phone-tag : 自動回線選択を設定する電話機の一意的シーケンス番号。
ステップ 4	auto-line [button-number [answer-incoming] incoming] 例 : <pre>Router(config-ephone)# auto-line 5 answer-incoming</pre>	この電話機に回線選択動作のタイプを割り当てます。 • 自動回線 : 受話器をあげると、最初に呼び出し音が鳴っている回線に応答します。回線が鳴っていない場合は、最初にアイドル状態の回線を選択します。これはデフォルトです。 • auto-line button-number : 発信のために受話器を持ち上げると、指定されたボタンに関連付けられた回線が選択されます。この引数が使用されない場合のデフォルトは、使用可能な最上位の回線です。 • auto-line button-number answer-incoming : 受話器を取り上げると、指定されたボタンに関連付けられた回線の着信コールに応答します。 • auto-line incoming : 受話器をあげると最初に鳴っている回線に応答しますが、回線が鳴っていない場合は、発信のためにアイドル回線は選択されません。回線ボタンを押すと発信する回線が選択されます。 • no auto-line : 自動回線選択を無効にします。 [応答] ソフトキーを押すと、最初に鳴っている回線に応答し、回線ボタンを押すと発信のため

	コマンドまたはアクション	目的
		の回線が選択されます。受話器を上げても通話には応答せず、ダイヤルトーンも流れません。
ステップ 5	終わり 例 : <pre>Router(config-ephone)# end</pre>	特権 EXEC モードに戻ります。

自動ライン選択の確認

手順

ステップ 1 設定を確認するには、**show running-config** コマンドを使用します。自動回線選択は出力の **ephone** 部分にリストされます。

例 :

Router# **実行中の設定を表示**

```
ephone 2
headset auto-answer line 1
headset auto-answer line 4
ephone-template 1
mac-address 011F.9010.1790
paging-dn 48
type 7960
no dnd feature-ring
no auto-line
```

ステップ 2 Ephone の設定情報のみを表示するには、**show telephony-serviceephone** コマンドを使用します。

例 :

Router# **show telephony-service ephone**

```
ephone 4
device-security-mode none
username "Accounting"
mac-address FF0E.4857.5E91
button 1c34,35
no auto-line
```

自動回線選択の設定例

自動行選択の例

次の例では、電話機 1 と 2 には自動回線選択を割り当てず、電話機 3 には着信コールに対してのみ自動回線選択を割り当てます。

```
ephone 1
mac-address 00e0.8646.9242
button 1:1 2:4 3:16
no auto-line
!
ephone 2
mac-address 01c0.4612.7142
button 1:5 2:4 3:16
no auto-line
!
ephone 3
mac-address 10b8.8945.3251
button 1:6 2:4 3:16
auto-line incoming
```

次の例では、着信に応答したり発信したりするために受話器を持ち上げたときに、回線ボタン 1 が自動的に選択されるようにします。

```
ephone 1
mac-address 0001.0002.0003
type 7960
auto-line 1 answer-incoming
button 1:1 2:2 3:3
```

自動ライン選択の機能情報

次の表は、このモジュールで説明されている機能に関するリリース情報を示しています。この表には、特定のソフトウェアリリーストレインで特定の機能のサポートを導入したソフトウェアリリースのみが記載されています。特に明記されていない限り、そのソフトウェアリリーストレインの後続リリースでもその機能がサポートされます。

Cisco Feature Navigator を使用して、プラットフォームのサポートと Cisco ソフトウェアイメージのサポートに関する情報を検索します。Cisco Feature Navigator にアクセスするには、<https://cfngng.cisco.com/>に進みます。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

表 1: 自動ライン選択の機能情報

機能名	Cisco Unified CME バージョン	機能情報
自動回線選択	4.0	answer-incoming キーワードが auto-line コマンドに追加されました。
	3.1	<i>button-number</i> 引数が auto-line コマンドに追加されました。
	3.0	自動回線選択が導入されました。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。